

取扱説明書

《特記事項》

(1) パスカードの使用があり、紛失等の際は、再発行費用として実費分をご負担いただきます。

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

以上

ICカード方式による操作方法

運転準備 操作盤の小扉を開けてください。

❗ 操作入力の間隔が10秒を超えるとそれまでの操作がリセットされ、ボタンが消灯します。
ICカードをカードリーダーに平行に近づける操作からやり直して下さい。(車の棟内への“入庫”、棟外への“出庫”作業は除く)

入庫操作手順

- ① 車を自動扉前に(自動扉の中央を目指して)停車して下さい。
- ② カードをカードリーダーに平行に近づけて下さい。
- ③ 安全確認ボタンの“点滅”を確認して下さい。自動扉周辺の安全を確認し、安全確認ボタンを押して下さい。
- ④ スタートボタンの“点滅”を確認し、スタートボタンを押して下さい。入庫準備完了後、自動扉が開きます。
- ⑤ 操作ガイドランプの「入庫可」が“点滅”していることを確認して下さい。
- ⑥ 棟内へ“ゆっくり入庫”して下さい。
- ⑦ 「進入案内灯」の表示に従いパレット上の定位置に車を停車させて下さい。
- ⑧ 車の運転者は棟外へ退出して下さい。
- ⑨ もう一度、カードをカードリーダーに平行に近づけて下さい。
- ⑩ 無人確認ボタンの“点滅”を確認して下さい。棟内および車内の無人を確認し、無人確認ボタンを押して下さい。(この操作は車の運転者が行って下さい)
- ⑪ 安全確認ボタンの“点滅”を確認して下さい。自動扉周辺の安全を確認し、安全確認ボタンを押して下さい。
- ⑫ スタートボタンの“点滅”を確認し、スタートボタンを押して下さい。自動扉が閉まります。
- ⑬ 操作盤の小扉を閉めて下さい。
- ⑭ 自動扉が閉まったことを確認後、駐車場から離れて下さい。

自動扉が作動中、音声案内が流れます

入庫を取りやめる場合
出庫操作の⑥~⑩を行って下さい

操作ガイドランプ

入庫 ゆっくり

車高
少しを少し右
前進
停止
後退

無人確認 モニタ

安全確認

スタート

自動扉が作動中、音声案内が流れます

自動扉が閉まったことを確認後、駐車場から離れて下さい。

出庫操作手順

- ① カードをカードリーダーに平行に近づけて下さい。
- ② 操作ガイドランプの「出庫可」が“点滅”していることを確認して下さい。
- ③ 安全確認ボタンの“点滅”を確認して下さい。自動扉周辺の安全を確認し、安全確認ボタンを押して下さい。
- ④ スタートボタンの“点滅”を確認し、スタートボタンを押して下さい。出庫準備完了後、自動扉が開きます。
- ⑤ 車の運転者のみ棟内へ入り、車を棟外へ“ゆっくり出庫”して下さい。
- ⑥ もう一度、カードをカードリーダーに平行に近づけて下さい。
- ⑦ 無人確認ボタンの“点滅”を確認して下さい。棟内の無人を確認し、無人確認ボタンを押して下さい。(この操作は車の運転者が行って下さい)
- ⑧ 安全確認ボタンの“点滅”を確認して下さい。自動扉周辺の安全を確認し、安全確認ボタンを押して下さい。
- ⑨ スタートボタンの“点滅”を確認し、スタートボタンを押して下さい。自動扉が閉まります。
- ⑩ 操作盤の小扉を閉めて下さい。
- ⑪ 自動扉が閉まったことを確認後、駐車場から離れて下さい。

入庫中の出庫について
入庫操作後、すぐに「出庫」操作を行うと入庫車を格納した後、出庫車を格納するまで「出庫」操作は行けません。(入庫車が格納されるまでに出庫操作を行った場合のみ)

操作ガイドランプ

出庫可 入庫可 出庫中 入庫中 出庫中

「入庫中」が点滅中でも「出庫可」が点滅している場合は出庫操作を受け付けます。

安全確認

スタート

自動扉が作動中、音声案内が流れます

ゆっくり

出庫

棟外へ出庫した際、音声案内が流れます

目視およびモニタで
無人確認 モニタ

無人確認

安全確認

スタート

自動扉が作動中、音声案内が流れます

操作終了です。

再入庫操作手順

車のドア、トランク、ドアミラー等の閉め忘れがないことを確認の上、入庫操作⑨~⑭を行って下さい。

車を移動させた場合

一度、車を棟外に出庫させた後、改めて前進で入庫し、入庫操作を行ってください。再入庫の操作は行なわないで下さい。

操作終了です。

❗ 自動扉の閉め忘れについて 《操作は入出庫操作を行った契約者または管理責任者が行って下さい》

1. 自動扉が開いた状態で3分経過するとブザー<断続音>が鳴り、さらに7分経過するとエラー<連続音>:1分で消音を発報します。
2. 入出庫を行った契約者のICカードをカードリーダーに近づけて下さい。
3. エラーは復帰ボタンを押すと解除されます。
4. エラー復帰後、扉を開けた契約者のICカードをカードリーダーに平行に近づけて下さい。
5. 棟内の無人を確認後、無人確認ボタンを押し、自動扉前の安全を確認後に安全確認ボタンを押します。最後にスタートボタンを押して自動扉を閉めて下さい。
「自動扉を開けた契約者がいない」または「棟内に車がある」場合は管理責任者もしくは、メンテナンス会社に連絡して下さい。
- ※ 管理責任者が自動扉の開操作を行う際は、No.99カードの取り扱い方法に従って操作を行ってください。
6. 自動扉を閉めた後に入出庫を行う場合は、もう一度、ICカードをカードリーダーに平行に近づけて、入出庫操作を行って下さい。

自動扉の閉め忘れにより自動扉が開いている時、パークリフトは動作しません。自動扉を閉めてから、入出庫操作を行って下さい。
自動扉を閉め忘れた状態で棟内に車を進入させた場合は、進入案内灯に「後退」が表示されます。

注意

入出庫時は最徐行で安全運転

運転の誤りによる乗降領域内の機器と衝突、入庫時は前進し過ぎによる入庫案内鏡と衝突、出庫時は前方車路の人や車と衝突する恐れがあります。

入退出時は足元に注意

乗降領域内では機能上必要な隙間や段差がありますので躓かないよう、また雨の日の濡れた床で滑って転倒しないよう足元に注意してください。

駐車装置を起動する前には必ず無人確認

車内および乗降領域内に人がいないことを確認してから駐車装置を起動してください。乗降領域内の人が駐車装置に巻き込まれると大変危険です。場合によっては重傷または死亡する恐れがあります。

入出庫作業中は操作盤から離れない

駐車装置が動作中の非常事態に対応できず、重大事故に至る恐れがあります。

外部者を駐車装置に近づけない。

外部者または動物などが乗降領域内に進入すると、駐車装置に巻き込まれる恐れがあり大変危険です。場合によっては重傷または死亡する恐れがあります。

教育を受けた取扱者以外は操作しない

誤った操作や不十分な安全確認により、重大な事故を起こす恐れがあります。

1 安全上のご注意

⚠ 危険

⊘ 装置の取り扱い教育を受けていない人の操作禁止

管理責任者による取り扱い教育を受けた装置の契約者および駐車場係員以外は、装置の操作を行わないでください。装置の操作には、必要な知識、非常時の対処方法、取り扱い上の注意事項などの教育を受ける必要があります。

また、管理責任者は、契約者および駐車場係員に変更が生じたときは、取り扱い教育をしてください。



誤った操作は、重大な装置の事故や故障、災害につながる恐れがあります。

⊘ 疾病・酒気帯時の操作禁止

管理責任者より運転教育を受けた方であっても、疾病・酒気帯時には、装置を操作しないでください。

重大な事故となる恐れがあります。

⚠ 操作の前に装置内の無人確認

操作の前に必ず、車の運転者が目視による装置内の無人確認を行ってください。モニタの画面だけを見ながら操作することは絶対にしないでください。また、装置内に人がいるときは絶対に操作しないでください。

人が作動中の装置に巻き込まれ、重大な事故となる恐れがあります。

⚠ 無人確認モニタが映らないときは連絡する

無人確認モニタ映像が乱れているときや、映らないときは、操作を続行せず、メンテナンス会社または、管理責任者に連絡してください。

安全装置が故障した不安全な状態で使用すると、死亡または重傷を負う恐れがあります。

⊘ 車の運転者以外の装置内立入禁止

入出庫の際、車の運転者以外は装置内に入らないでください。

装置内に閉じ込められ、重大な事故となる恐れがあります。

⚠ 操作盤から離れない

操作中は操作盤のそばから離れないでください。お子様や動物の侵入には十分注意してください。

非常事態が発生した場合、非常停止ボタンを押すのが遅れ、重大な事故となる恐れがあります。

⚠ お子様とは一緒に行動する

お子様とは手をつなぐなど一緒に行動し、お子様から離れないでください。装置の操作中もお子様には細心の注意を払ってください。

人と作動中の装置が接触し、重大な事故の原因になります。

⊘ 装置の作動中は装置内立入禁止

装置の作動中は、装置内に入らないでください。特にお子様にはご注意ください。

死亡または重傷を負う恐れがあります。

⊘ 通路および退避場所以外は立入禁止

通路および退避場所以外に立ち入らないでください。また、ピット(駐車室地下)内に降りたり、ハシゴを登らないでください。

⊘ 装置内に物を落としても、自身で拾わない

装置内の隙間や手の届かない所(ピットなど)に落し物をした場合は、必ず、メンテナンス会社に連絡してください。

ご自身で装置内に入るとケガをする恐れがあります。

⚠ 危険

❗ 入出庫後は自動扉を閉める

無人確認をし、周囲の安全および扉部に障害物がないことを確認して自動扉を閉め、完全に閉まったことを必ず確認してください。

☆ 次の方の入出庫が出来なくなります。

扉を開けたまま放置すると人の侵入を防げず、死亡または重傷を負う恐れがあります。

❗ 自動扉が開いたまま放置されているときは連絡

自動扉が開いたまま放置されているときは、メンテナンス会社または、管理責任者に連絡してください。

⊘ 消火ガス放出表示灯の点灯時は装置内立入禁止

消火ガス放出表示灯の点灯時は装置内に立ち入らないでください。鎮火後も消防署による安全確認がされるまで、絶対に近づかないでください。

装置内に充満した消火ガスで、中毒死する危険があります。

❗ 避難警報にしたがって退出

消火設備の避難警報アナウンスが流れた場合には、ただちに装置内から出てください。鎮火後も消防署による安全確認がされるまで、絶対に近づかないでください。

消火ガス充満
危険・立入禁止

消火ガスが放出されますので、中毒死する危険があります。

⊘ 手動運転モードの操作禁止

自動運転モード以外では操作しないでください。安全装置に関係なく作動します。

火災発生

安全装置に関係なく作動しますので、大変危険です。重大な事故となる恐れがあります。

❗ 装置内に閉じ込められたときは

◆ 装置内に閉じ込められたときは、以下の状況に応じて行動してください ◆

車内にいる場合

- ❶ 絶対に車外には出ないでください。窓から顔や手を出さないでください。
- ❷ 車のドアを閉めて、クラクションを鳴らすなど、外部に閉じ込めを知らせてください。また、携帯電話やスマートフォンなどで外部に連絡し、助けを求めてください。

車から出ようとすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。

車外にいる場合

- ❶ ただちに退避場所に避難し、【非常停止】ボタンを押してください。
- ❷ 作動する装置(パレット、搬器)には絶対に近づかないでください。
- ❸ 大声で装置外の人に助けを求めてください。
- ❹ 作動中の装置が確実に停止したことを確認してから、非常脱出口より外に退避してください。
- ❺ 非常脱出口から脱出できない場合、退避場所から携帯電話やスマートフォンなどで外部に連絡し、助けを求めてください。

死亡または重傷を負う可能性があります。

閉じ込めに気が付いた場合

- ❶ 操作者は作動中に装置内からクラクションや大声が聞こえるなど、装置内で閉じ込めが起こっているとわかったときは、ただちに【非常停止】ボタンを押してください。

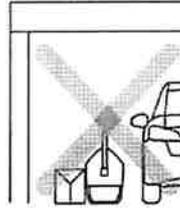
万一、装置作動後に装置内に人がいたときは、ただちに【非常停止】ボタンを押し、装置を停止してください

1 安全上のご注意

警告

⊘ 装置内では入庫以外の行為禁止

車の修理、洗車、点検などは絶対にしないでください。
トランクの開閉も装置内では行わないでください。
また、自転車や箱など、車以外の物を置くこともしないでください。



装置の故障の原因になります。
物や人が装置に挟まるなど、重大事故の原因となります。

⊘ 装置内は火気厳禁

装置内は車とともに多量のガソリンが持ち込まれています。
タバコやマッチなどの火は確実に消してください。



火災の恐れがあります。

⊘ 装置内に危険物の持ち込み禁止

装置内に危険物（火気・揮発性の高いもの・爆発する恐れのあるもの・燃えやすいもの・人体に影響をおよぼす化学物質など）を持ち込まないでください。

⊘ 危険物を積載した車の入庫禁止

危険物や重量物を積載した車は、入庫しないでください。

装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする恐れがあります。

⊘ 入庫可能としている寸法・重量を超える車の入庫禁止

入庫可能としている車両寸法および車両重量に公差は含まれません。
車検証上では寸法内であっても、実際の寸法および重量が条件を満たさない場合は入庫できません。

装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする恐れがあります。

◆ 下記の車は入庫できません ◆

- ⊘ キャリア類を装着した車や改造車
- ⊘ 過積載による重量オーバー車
- ⊘ ドアミラーをたためない車
- ⊘ トラックおよび二輪車、三輪車

入庫可能な車両寸法・車両重量の詳細については「2.パークリフトの装置概要」を確認してください。

⊘ リモコンエンジンスターターの使用禁止 駐車時は車のエンジンは必ず停止

駐車時は車のエンジンを必ず停止してください。
また、ターボタイマーなども使用しないでください。
また、ライトの消灯も忘れないようにしてください。

排気ガスが装置内に充満し、一酸化炭素中毒や過熱火災を起こす恐れがあります。

⊘ 装置外にいるとき、および装置の作動中は 車のリモートコントロールキー操作禁止

リモートコントロールキーによるドア・ドアミラー・トランクなどの開閉操作、ロックの解除などを行わないでください。
(装置外からでもリモコンの電波が届く場合があります)

駐車中の車のロックを解除すると装置の振動などでドアが開く恐れがあります。
また、装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする原因となります。

⚠ 警告

❗ 異音・異常の発生時は非常停止を行いメンテナンス会社に連絡

装置の運転中に異音や異常などが認められるときは、ただちに【非常停止】ボタンを押し、メンテナンス会社または、管理責任者へ連絡してください。

重大事故が発生したり、被害が拡大する恐れがあります。

⊘ メンテナンス作業中は装置内立入禁止および操作禁止

メンテナンス作業を行なっている場合は、装置内に立ち入らないでください。操作は行わず、メンテナンス作業員の指示にしたがってください。

❗ 災害などの非常事態時はただちに装置外へ退出

災害発生時は、ただちに装置外へ退出してください。

装置内に閉じ込められたり、災害に巻き込まれる恐れがあります。

⊘ 非常脱出口付近には物を置かない

非常脱出口の位置を確認し、扉の開閉に障害となるものを置かないでください。

物や人が装置に挟まるなど、重大事故の原因となります。

❗ 同乗者は装置外で乗降

同乗者の乗降は必ず、装置外で行ってください。



誤って閉じ込められる恐れや装置内で転倒して、ケガをする恐れがあります。

⊘ 運転者以外の同乗者は装置内立入禁止

装置内への入場は安全検出装置の関係から運転者1名のみです。入出庫の際は、同乗者の安全に十分気をつけてください。車の中に人(特にお子様)やペットを絶対に取り残さないでください。

⊘ 装置内での荷物の積み降し禁止

荷物の積み降しは、装置外で行ってください。

荷物を取り残したり、荷物を積み降ろし中の人が装置内に誤って閉じ込められ、事故となる恐れがあります。

❗ 自動扉は開けた人が閉める

装置内への閉じ込めを防ぐため、自動扉は開けた人が閉めてください。

⚠ 注意

⊘ 決められた車以外は入庫禁止

装置には、収容可能な車の寸法・重量などの条件がありますので、あらかじめ管理責任者に届けた車以外は入庫しないでください。車を変更する場合や車検などで代車を入庫する場合は、あらかじめ管理責任者に届けた上、収容可能な車の寸法・重量などの条件を満たしているかを必ず確認してください。

装置が緊急停止したり、車や機械が損傷したりする恐れがあります。

⊘ タイヤチェーン装着車は入庫しない

パレットや装置を傷つける恐れのあるタイヤでの入庫はしないでください。

1 安全上のご注意

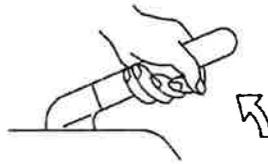
⚠ 注意

❗ 雪は装置外で落とす

雪や氷が車に付着している場合は、入庫前に取り除いてください。

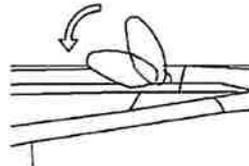
❗ 入庫待機中はサイドブレーキをかける

ギヤをパーキングレンジまたは、ニュートラル(マニュアル車の場合はローまたはバック)に入れ、サイドブレーキをかけて待機してください。アクセルとブレーキの踏み間違いや、積雪・凍結によるスリップに注意してください。出庫時は閉まる自動扉に接触しない位置まで車を出してください。



❗ アンテナは必ず入庫前に折りたたむ

アンテナは、装置内に入る前に必ず格納もしくは折りたたんでください。また、高さ制限を超える可能性のあるものは、事前に取り外してから入庫してください。



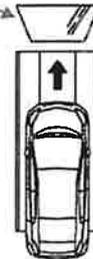
❗ ドアミラーは必ず入庫前に折りたたむ

制限幅よりはみ出さないよう、入庫前にドアミラーは折りたたんでください。

❗ 車は前進で入庫

前進入庫専用です。出庫時も前進で出庫できます。車を入庫するときには、必ず前進で入庫してください。

入庫誘導鏡



❗ 前方の鏡を見ながら最徐行運転(時速5km程度)で入庫

車の移動は最徐行で行ってください。急発進、急停車はしないでください。

進入案内灯

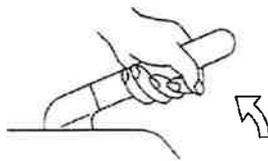
| | |
|-----|-----|
| 車高 | |
| 少し左 | 少し右 |
| 前進 | |
| 停止 | |
| 後退 | |

❗ 入庫する時は、停止位置を確認

入庫時の停車位置は、前方の進入案内灯の表示にしたがってください。誤った停車位置では、入庫できません。

❗ 入庫したらサイドブレーキをかけ、エンジンを停止

サイドブレーキをかけ、シフトレバーをパーキングレンジ(マニュアル車はギヤをローまたはバック)に入れ、エンジンは必ず停止してください。(寒冷地では凍結防止のためパーキングブレーキを掛けない場合、車止めなどを利用して車が動かないように固定してください)



雪や氷が装置内に落ちると、車や機械が損傷または故障の原因になる恐れがあります。

車が急発進して、事故となる恐れがあります。

センサが感知して、装置が緊急停止したり、車や装置に損傷を与える恐れがあります。

後退で入庫すると、装置の損傷や故障の原因になります。

パレットおよびタイヤガードに接触して、タイヤのパンクやホイールの損傷、また、前進しすぎて鏡に衝突する恐れがあります。

装置作動中に車が動いて、車や装置が破損する恐れがあります。

⚠ 注意

❗ 車のドアを確実に閉める

降車時に全てのドア、ハッチバック、トランク、給油口などを確実に閉め、ロックしてください。(各種センサを設けていますが、車種、ドア形状、位置などにより検知できない場合があります)

装置の作動中にドアなどが開くと、装置が緊急停止したり、車や装置が破損する恐れがあります。

❗ 操作の前に自動扉周辺の無人を確認

自動扉の近くに人がいないこと、周辺の安全が確保されていることを必ず確認してください。

人が自動扉に接触して転倒するなど、ケガをする恐れがあります。

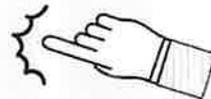
⊘ 操作盤はカギなどの突起物で操作しない

操作盤はカギ先、ペン先などの鋭利なもので操作しないでください。操作盤は必ず指で操作してください。

操作盤が損傷し、操作ができなくなる恐れがあります。

⊘ 自動扉には手を触れない

指をはさまれるなど、ケガをする恐れがあります。



❗ 入退出時は足元、頭上に注意する

装置内には、機能上必要な隙間や突起部分、段差などがありますので、足元、頭上には注意してください。特に歩行補助具(杖など)、車椅子およびハイヒールやサンダルなどを使用の際は注意してください。

転倒するなど、ケガをする恐れがあります。

⊘ 緊急時以外は非常脱出口を開けない

装置内に閉じ込められるなどの緊急時以外は開けないでください。

非常脱出口を開けると、装置が緊急停止します。

⊘ 装置内に物を置かない

装置内に物を置くと、センサによる安全確認が行えません。

装置に接触し、正常な運転ができなくなり、車や装置に損傷を与え、事故の原因になります。

❗ 人の目でも必ず確認

装置は各種センサの設置など、安全面には最大の注意をはらって製作されていますが、より安全にご利用いただくため、自らの目でも必ず確認してください。

⊘ 装置内の機器には触れない

装置内のセンサや制御盤などは不用意に触らないでください。

感電や事故、装置の故障の原因となる場合があります。

❗ 車のカギを確認

出庫操作を行う際は、車のカギを持っていることを確認してください。車が出庫された後でカギがないと、再入庫操作を行うことになり、次の利用者の出庫操作がスムーズにできません。